



02

PROGRESS

新たな価値を創る

CONTENTS

特集：進展する新たな挑戦

- 25 加工食品事業本部
海外市場への輸出拡大
- 26 食肉事業本部
国産牛の輸出強化

特集 進展する新たな挑戦

加工食品事業本部

海外市場への輸出拡大

伸長する海外市場への輸出拡大に挑戦しています。
組織横断の輸出推進体制を構築し、海外拠点ネットワークを活かしながら、
世界のお客様に当社の高品質な商品をお届けしていきます。

海外市場でのプレゼンス向上に向けた挑戦

円安やインバウンドの回復に加え、海外における日本食レストランの増加を背景に、日本で生産された安全・安心で高品質な食品への関心が世界的に高まっています。当社ではこの潮流をビジネスチャンスと捉え、部門横断の輸出戦略会議を設置し、ソーセージやピザ、ハンバーグなど、繊細で調和のとれた味わいや品質の高さが評価されている当社主力商品の海外市場への提案を本格化させるとともに国際展示会への出展や、各国の法規制に対応した商品設計を進めています。今後はアジアの現地スーパーや日系外食チェーンへの提案強化に加え、冷凍食品のラインアップ拡充などを通じて、海外市場でのプレゼンス向上を図ります。



VOICE

当社の高品質な商品を

世界の新たなお客様へお届けしたい

後藤 紀弘

伊藤ハム(株)
営業統括部
営業戦略室

加工食品事業本部では2024年度を「輸出元年」と位置づけ、ターゲットとなる国と商品の選定を行いました。現地文化に適した商品のリサーチ、輸出先企業との連携、現地の販売規格に対応した商品開発など、すべてが初の試みであり、決して容易な道ではありませんでしたが、試行錯誤を重ね、ようやく当社の主力商品を輸出できる体制を構築することができました。

2年目となる2025年度は、ターゲットを香港に絞り、輸出営業を本格化させています。さらに、香港以外の国々への輸出準備も並行して進めています。当社の日本国内で製造した高品質な商品を世界へ届け、新たなお客様に当社商品の価値を認めていただけるよう、努めてまいります。

輸出可能な商品を広げ、

海外市場への挑戦を支えたい

杉山 絵葉

伊藤ハム米久ホールディングス(株)
加工食品事業本部生産本部
品質管理部品質企画課

当課では、輸出商品に対して諸外国の規制項目の調査を行い、輸出の可否を確認することで、販売部門や取引先様が安心して当社商品を輸出促進できるようサポートしています。また、生産工場における各国の輸出認証の取得を促進し、より多くの国々への輸出拡大を図っています。

各国で規制対象の項目が異なるため、個別に判断が求められるという難しい面もありますが、販売部門からお客様の商品に対する要望や輸出国の情報を吸い上げ、輸出可能な規格の構築や輸出対応商品のラインアップを広げることで、当社の輸出事業拡大、さらには将来の当社事業の柱のひとつへとつなげていきたいと思っています。

特集 進展する新たな挑戦

食肉事業本部

国産牛の輸出強化

日本の食文化が世界で注目を集める中、和牛を中心とした国産牛の輸出拡大に取り組んでいます。

グループ内で一貫した生産・加工・販売体制を構築し、確かな品質と信頼を武器に、世界に誇る「ITO WAGYU®」をはじめとするブランド牛を届けるべく、私たちは挑戦を続けています。

輸出拡大を通じて国内事業の持続性を高め成長する

日本では今後人口減少に伴う国内需要の縮小が危惧されていますが、世界的に見れば人口増加や日本食の認知度の上昇により、日本食材の輸出に向けた好機が広がっています。

当社グループの強みは、生産から加工、販売までをグループ内で一貫して行う体制が構築されている点です。鹿児島県に拠点を置くサンキョーミート(株)では、牛・豚のと畜およびカット処理を行っており、徹底した品質管理と衛生管理により、海外市場でも高い信頼を獲得しています。同社が輸出する「ITO WAGYU®」は、当社の協力農場で生産された黒毛和牛であり、世界的なステーキコンテストにおいて「世界最優秀和牛ステーキ」を受賞するなど、国際的にも高い評価を得ています。

さらに、2024年には青森県にIHミートパッカー(株)十和田ビーフプラントを新設し、東西の食肉加工拠点が確立。これにより全国規模の輸出体制が整いました。今後は、これらの強みを活かして更なる市場シェア拡大を目指します。

VOICE

輸出拡大を通じて

当社の「海外から稼ぐ力」の強化に寄与したい

長谷川 久人

伊藤ハム米久ホールディングス(株)
食肉事業本部国内食肉本部
業務部輸出推進課 課長

私たちの部署では、和牛を中心とした国産牛の輸出販売拡大に取り組んでいます。世界主要都市では和牛の認知が進み競争が激化する一方で、北米内陸部や南米、東南アジアなど、まだ和牛の認知度が低く今後需要拡大が見込まれる地域も存在すると考えています。そうした市場に当社商品を届けていくことが課題と捉えています。

より多くの海外のお客様に当社商品をお届けすべく、世界市場への流通ネットワークの構築を進めるとともに、海外現地法人やグループ会社の海外拠点ネットワークを活用し、更なる輸出拡大に努めてまいります。

東日本から発信

国産牛の生産・販路拡大へ

小泉 隆

IHミートパッカー(株)
社長

当社の十和田ビーフプラントは、東北を中心とする国産牛の仕入れ、と畜、カット処理を行い、製品を当社グループの各営業拠点に提供しています。東日本には品質の高い国産牛を生産する技術を持った生産者が多く、お客様に新たな付加価値を提供できると考えています。生産者の思いを受け取り、安全・安心でおいしい牛肉を世界に届けるためには、高度な衛生・品質管理が重要です。衛生的な工場を維持するには、点検作業に多くの時間と労力を要し、従業員一人ひとりのスキル向上が欠かせません。そのため当工場では品質管理部門を中心に生体搬入からカット処理までの各工程において巡回指導を実施しています。これによって工場全体のレベルが向上し、国内の販路拡大においてもお客様満足度向上が期待されます。今後も全従業員で「継続は力なり」を実現してまいります。